

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	T E L	発表者名 （担当課長(班長)名）	その他の配布先
2／18 （火）	兵庫県立美術館 営業広報グループ	078-262-0905	小畑由起夫 （古巻 和芳）	—

## ゴッホ展・兵庫展限定2作品追加、21日から

兵庫県立美術館で開催中の「ゴッホ展」において、2月21日（金）から、本展のみ公開のファン・ゴッホ作品2点が追加展示されます。

追加される作品は、2010年にファン・ゴッホの真作と判明した「ブリュット=ファンの風車」と「ポピー畑」の2点で、いずれも兵庫展のみの公開となります。



フィンセント・ファン・ゴッホ 《ポピー畑》  
1890年6月 油彩・カンヴァス 73×91.5cm ハーグ美術館  
© Kunstmuseum Den Haag

フィンセント・ファン・ゴッホ《ブリュット=ファンの風車》  
1886年 油彩・カンヴァス 55.2×38cm デ・ファンダー  
ツィー美術館、ズウォレ  
© Museum de Fundatie, Zwolle and Heino/Wijhe, The  
Netherlands



「ブリュット=ファンの風車」は33歳で弟・テオを頼ってパリに出た1886年の作品です。「ポピー畑」は最期の地・オーヴェール=シュル=オワーズで1890年6月に描いた作品で、ファン・ゴッホはこの1カ月後にピストル自殺を図ります。この2作品を比べるだけでも、ファン・ゴッホがわずかな期間に作風を変化させたことが分かります。

本展覧会は27歳で画家を目指したファン・ゴッホが、初期に基本を学んだオランダのハーグ派と、パリで出会った印象派の2つの出会いを中心に、いかにして独自の表現を獲得していったのかをたどります。初期から晩年までファン・ゴッホ作品約50点と彼に影響を与えたマウフェ、モネ、ルノワールなどの約30点を展示。弟・テオらとの手紙のやり取りを通じてファン・ゴッホが何に影響を受け、何を目指して創作を続けてきたかを探ります。

### 「ゴッホ展」概要

【会場】兵庫県立美術館（神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 HAT 神戸内）

【会期】2020年3月29日（日）まで ※月曜休館（但し2月24日(月・休)は開館、翌25日休館）

【開館時間】10時～18時（金・土曜日は20時まで） ※入館は閉館の30分前まで

**【入場料（税込）】** 一般 1700 円(1500 円) 大学生 1300 円 (1100 円)

※高校生以下無料。カッコ内は 20 名以上の団体料金

※70 歳以上は 850 円 (750 円)、障がいのある方は一般 400 円(350 円)、大学生 300 円(250 円)。カッコ内はそれぞれ 20 名以上の団体券。会期中、館内券売所でのみ販売。※一般以外の料金は要証明

**【主催】** 兵庫県立美術館、産経新聞社、読売テレビ

**【リリースに関する問い合わせ先（画像提供も）】**

県立美術館営業広報グループ 古巻

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

電話：078-262-0905 FAX：078-262-0903